

出題の意図

入試区分	一般選抜Ⅰ期
科目	英語

【当科目の出題方針】

- | |
|---|
| 1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ修了程度の基礎学力とともに、英語読解力、英語表現力を測定する。 |
| 2 会話の流れを理解する力、及び会話でよく使われる表現に関する知識を測る。 |
| 3 語彙や表現、構文に関する知識を運用し、英語で書く力を測る。 |
| 4 英語の長文の要旨を把握する力を測る。 |

【各設問の方針と内容・配点】

大問番号	大問の出題内容	配点
1	派生語を書かせることで、英語の語彙力の基礎とそれを支える接尾辞の知識、ならびに品詞に関する理解度を測る。	10
2	会話を読んで理解し、その流れ・文脈に合った選択肢を選ぶ問題である。まず、会話の流れや内容を理解できるかを測る。同時に、選択肢には会話でよく使われる語彙や表現が含まれており、それらの意味や用法を知っているかどうかを測る。 * 学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編英語編「第2章第2節 英語コミュニケーションⅠ、1 目標、(3)話すこと[やりとり] ア」及び「第2章第3節 英語コミュニケーションⅡ、1 目標、(3)話すこと[やりとり] ア」も考慮に入れながら、作問されている。	20
3	カッコの中の単語を適切に並べ替え、文を完成させる問題である。カッコの中の選択肢を並べ替えて文を完成させるには、語彙、文法、構文、語法に関する知識が要求される。基礎的な文法、構文、語法に関する知識を身につけているか、そしてそれらを運用・応用できるかを測る。	20
4	与えられた日本語を英語に訳す(英語で表現する)問題である。受験者が身につけている語彙や表現、構文を運用し、英語で書く力を測る。正解は一つではなく、受験者は与えられた日本語を自分なりに解釈し、それを自身が身につけている語彙や表現、構文を応用しながら自分なりの英語で表現できるかどうかを測る。	25
5	長文読解問題。時事に関する英語長文を読み、内容をどの程度理解できるかを測る。長文、及び選択肢の英語を正しく理解するために必要な語彙、文法、構文に関する知識が要求される。	25